

笠間広域森林組合

令和5年号

発行日 令和5年7月7日

発行所 笠間広域森林組合

発行人 盛 田 守

こもれび



プロセッサによる造材の様子(城里町七会地内)

山林経営の相談は森林組合へ

所有している山林の自己管理ができない。または、山林の経営をどのようにしてよいかわからない等の相談に、森林組合では専門的な知識を活かし山林の管理や経営の相談を受け付けておりますので、是非ご利用ください。

山林の保育管理とは、主に植栽・下刈り・枝打ち・除間伐・皆伐及び作業道の開設などがあり、内容により国及び県の補助金を活用することができます。

TEL : 0296-72-2510

ホームページ <http://k-forest.or.jp>





鈴木 義忠 議長

今年度の総代会を5月25日(木)ポレポレルーム会議室において山口笠間市長・上遠野城里町長・常井、村上県議を来賓に迎え開催いたしました。

議長に鈴木義忠氏(城里町七会地区)を選出し、書面による議決115名、本人出席49名、合計164名によって全議案が可決承認されました。

組合の経営状況は次のとおりです。

第29回(令和5年度) 通常総代会を開催

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日

科 目	内 訳	小 計	合 計	科 目	内 訳	小 計	合 計
〈 資 産 の 部 〉	円	円	円	〈 負 債 の 部 〉	円	円	円
流 動 資 産				流 動 負 債			
1. 現 金		39,804		1. 前 受 金		13,250	
2. 預 金		43,354,076		2. 未 払 金		10,820,367	
3. 未 収 金	47,158,995			3. 未払法人税等		2,050,000	
4. 貸倒引当金	△288,612	46,870,383		4. 預 り 金		3,836,219	
5. 購 買 品		245,614		5. 造林補助金預り金		136,400	
6. 林 産 品		1,760,000		6. 林 産 預 り 金		21,331,859	
7. 一 般 立 替 金		111,297		流動負債合計			38,188,095
8. 前 払 金		112,640		固 定 負 債			
流動資産合計			92,493,814	1. 施設整備引当金		3,120,220	
固 定 資 産				2. 退職給付引当金		15,297,464	
有形固定資産				固定負債合計			18,417,684
1. 建 物		4,070,587		負債合計			56,605,779
2. 機 械 装 置		566,481		〈 純 資 産 の 部 〉			
3. 車 両 運 搬 具		1,551,818		組 合 員 資 本			
4. 備 品		175,295		1. 出 資 金	25,436,000		
5. 土 地		1,000,000		未払込出資金	0	25,436,000	
有形固定資産合計			7,364,181	出資金合計			25,436,000
無形固定資産				2. 利 益 剩 余 金			
1. 水道施設加入権		41,818		(1)法定準備金		8,670,000	
2. 電 話 加 入 権		154,497		(2)任意積立金		5,890,000	
3. 預 託 金		14,550		(3)その他利益剰余金			
4. ソフトウェア		953,579		①当期末処分剰余金			
無形固定資産合計			1,164,444	ア.当期剰余金	3,105,835		
外 部 出 資				イ.前期繰越剰余金	4,824,825	7,930,660	
1. 系 統 出 資 金				剰余金合計			22,490,660
①県森連出資金	3,230,000			3. 資 本 準 備 金		120,000	
②農林中金出資金	400,000	3,630,000		資本準備金合計			120,000
外部出資金合計			3,630,000	資 本 合 計			48,046,660
固 定 資 産 合 計			12,158,625	純 資 産 合 計			48,046,660
資 産 合 計			104,652,439	負債・純資産合計			104,652,439

損益計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

区 分	小 計	合 計	一 般 事 業		
			指 導	販 売	森林整備
	円	円	円	円	円
I 事業総損益					
1. 収 益	171,062,225		1,696,000	18,103,311	151,262,914
2. 費 用	125,430,324		1,859,718	14,846,225	108,724,381
事業総利益		45,631,901	△163,718	3,257,086	42,538,533
II 事業管理費					
1. 人 件 費	24,041,772		1,130,876	961,669	21,949,227
2. 旅 費 交 通 費	780,770		663,654	39,038	78,078
3. 事 務 費	1,750,336		262,550	78,979	1,408,807
4. 業 務 費	3,394,005		509,099	135,758	2,749,148
5. 諸 税 負 担 金	7,583,376		379,168	227,501	6,976,707
6. 施 設 費	4,692,296		187,689	234,613	4,269,994
7. 雑 費	336,546		50,481	33,654	252,411
事業管理費計		42,579,101	3,183,517	1,711,212	37,684,372
事業利益		3,052,800	△3,347,235	1,545,874	4,854,161
III 経常損益					
1. 事業外収益	2,342,735				
2. 事業外費用	0				
事業外損益		2,342,735			
経常利益		5,395,535			
IV 特別損益					
1. 特別利益	0				
2. 特別損失	0				
特別損益		0			
税引前当期純利益		5,395,535			
法人税・住民税及び事業税		2,050,000			
当期剰余金		3,345,535			
前期繰越剰余金		4,824,825			
当期末処分剰余金		8,170,360			

令和4年度 剰余金処分

科 目	積算内訳	小 計	合 計
		円	円
I 当期末処分剰余金			8,170,360
II 剰余金処分額			
1 法定準備金	(当期剰余金の1/5以上)	1,600,000	
2 任意積立金		1,000,000	2,600,000
III 次期繰越剰余金			5,570,360

脚注 1. 次期繰越剰余金中、教育情報資金は、170,000円である。





理事会等の 開催状況

今年度(令和4年度)の理事会は総代や理事、監事の役員改選があり、コロナウィルスの感染拡大防止のため、感染防止を図りながらの開催となりました。

開催内容は、事業報告や決算状況及び役員選挙改選に伴う組合長代表理事の選出等を審議し、新たな制度や組合運営全般にわたり、審議をいたしました。

開催年月日	出席者数	議事及び議決事項
4月21日	理事 14人 監事 1人	報告 第1号 県森連監査について 議案 第1号 総代会の開催について 議案 第2号 任期満了に伴う役員及び総代選挙について 議案 第3号 選挙管理者及び選挙立会人の指名について 議案 第4号 規程の一部変更について 議案 第5号 組合規約の一部変更について
5月11日	理事 15人 監事 3人	議案 第6号 森林組合系統運動方針(案)について 議案 第7号 総代会提出議案について 議案 第8号 参事の選任について
5月26日	理事 15人	議案 第9号 代表理事組合長の選任について 議案 第10号 副組合長の選任について 議案 第11号 専務理事の選任について
7月29日	理事 15人 監事 3人	報告 第2号 森林組合系統運動方針について 報告 第3号 令和4年度上半期事業における事業実施概要について 議案 第12号 茨城県森林組合連合会への増資(配当金振替)について 議案 第13号 令和4年度各理事報酬について

開催年月日	出席者数	議事及び議決事項
7月29日		議案 第14号 笠間広域森林組合経営基盤強化検討委員会設置要綱(案)について
11月9日	理事 14人 監事 3人	報告 第4号 令和4年度上半期事業における事業実施概要及び仮決算について 報告 第5号 監査報告 議案 第15号 令和4年度下半期事業計画(案)について 議案 第16号 高性能林業機械(ザウルス0.45)の事前発注について 議案 第17号 職員給与規程の一部変更について
3月16日	理事 15人 監事 3人	報告 第6号 令和4年度下半期における事業実施概要及び決算見込みについて 報告 第7号 県常例検査概要及び結果について 報告 第8号 固定資産の取得について(専決処分) 議案 第18号 退職給付規程の一部変更について 議案 第19号 時間外労働・休日労働に関する協定書の締結について 議案 第20号 災害時の応急作業に関する協定の締結について

代表理事組合長挨拶



代表理事組合長
盛田 守

組合員の皆様には、組合の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

組合の経営につきましては、森林施業の集約化と効率的な運営に取り組み、昨年度を上回る当期剰余金を計上することが出来ました。今後も、役職員一同、組合経営の強化と効率的な運営に努めてまいります。

さて、国の「森林経営管理法」や「茨城県湖沼環境税」による各事業が具体化され、各市や町からの森林整備及び森林所有者向けの補助事業がメニュー化されております。間伐や皆伐事業を積極的に推進するため集約化を図りながら、組合員の要望に答えられるよう効率的な運営を目指してまいりますので、組合員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



「スマート林業」の可能性

林業という職種では、短期間での職員の育成や技術員の増員が難しくどのような対応していくかが課題になっています。

既存の作業に改善点がないかを常に考え、新しいことにチャレンジしていく姿勢を持ち続けていくことが大切であると思います。このようなことから、「県のリモートセンシング事業」を活用し、ドローン（無人航空機）を導入しました。



導入したドローン



ドローンの操縦風景

導入の効果

今までは、予定地の造林面積や苗木の本数を決めるためにコンパス測量により周辺を測量していましたが、ドローンによる現地測量とパソコンによるデータ処理を行うことにより、かなりの時間と労力の省力化及び、作業の効率化に役立っています。

今後の目標と課題

今年度、ドローンに追加導入した、GNSS（全球測位衛星システム）測量機器は、対象地を測量するときに、必ず測量のポイントが必要になりますが、このポイントの設置とGNSSによって測量が同時にできる機器で更なる効率化と精度の向上が期待できます。

スマート林業とは、測量機器ばかりでなく、ICT技術を活用した先端林業機械や森林データのクラウド化、日々の生産管理など、限られた人材と資材を活用して低コストや経済的な運営をするために業務をより「スマート」にしようとする取り組みで、調査事業や現場作業など、各分野での対応を進めてまいります。



データの画像処理



令和4年度に新規加入された組合員及び相続や名義変更のあった方を対象に、「森林経営研修会」を開催いたしました。

盛田組合長の挨拶の後、21名の参加者に対しまして岡井専務から、森林組合の概要や今後の課題について、岡野総務課長から、森林施業の補助制度や森林経営計画及びナラ枯れの現状について、星野業務課長から、効率的な森林施業や作業道開設の方法及び安全対策等についての説明を受け、高性能林業機械を活用した施業方法や低コスト化を目指した間伐作業現場（城里町七会地区）を見学しました。

参加者から森林組合や森林に対する理解を深めるため組合員の森林経営に対する「相談できる体制づくり」やこのような「森林経営研修会」を毎年開催してほしいとの要望がありました。



作業現場視察（七会地区）



森林経営研修会の様子

第29回笠間広域森林組合通常総会



栗田笠間林業指導所長による説明

林業指導所からのお知らせ

今年度の総代会終了後に栗田笠間林業指導所長から、「伐採から植栽までを並行又は連続かつ一体的に実施する主伐・再造林の一貫作業システム」のメリット及び造林補助金の活用について説明がありました。

また、組合では森林所有者の方が実施した植林に対しても、負担軽減及び意欲の向上を目的に一定の要件を満たす組合員に対して、植林の経費を助成する独自の制度がありますので、詳しくは組合までお問い合わせください。

「いばらきの森再生事業」 〔森林湖沼環境税活用事業〕 のお知らせ

人工林伐採後の 再造林を支援します

「いばらきの森再生事業（森林湖沼環境税活用事業）」により、主伐した後に植栽（再造林）しコンテナ苗を植林した場合は造林補助金等（標準経費の100%）を受けられます。

なお、交付条件等がありますので、組合又は各林業指導所にお問い合わせください。

笠間林業指導所
担当区域：笠間市・城里町
電話 0296(72)1174
筑西林業指導所
担当区域：桜川市
電話 0296(24)9176



第46回全国育樹祭が 開催されます

令和5年11月11日(土)12日(日)に潮来市の「水郷県民の森」水戸市の「アダストリアみとアリーナ」において、国民的な緑の祭典であり、未来につながる新しい林業の姿を全国に発信する「全国育樹祭」が茨城県内で34年ぶりに開催されます。

「林友会」の会員募集 について

「林友会」とは、全国林業改良普及協会及び県林業改良普及協会を上部団体とし、茨城県県央農林事務所管内の区域にお住まいの方又は事業所に勤務されている方々で組織しております。

「林友会」の活動内容

◎機関誌の月刊「林業いばらき」「林業新知識」の配布。
「林業いばらき」は、国・県等の林業行政の紹介や林業に従事する方の紹介。各林業指導所の活動内容の紹介。木材市況等のお知らせ。



「林業新知識」は、全国の林業に従事し、活躍されている方々の紹介。林業に関する悩み事相談等について。

◎会費について

会員の年会費2,500円です。(毎月配布する「林業いばらき」及び「林業新知識」の購読料込み。)

◎お申し込み方法

新規会員としてお申し込みされる方は、左記まで電話・FAX又は直接お申し込み下さい。

笠間広域森林組合

電話 0296(72)2510
FAX 0296(73)0212

消防活動の協力に関する 協定を締結しました

地域連携の一環として、笠間市内で火災等の災害が発生した場合、または恐れがある場合に消防長の要請に応じて組合の資機材の協力や人員の派遣などの協力を行う協定を締結しました。

併せて、消防団に協力している事業所として登録を行いました。

普通救命資格取得講習を受講

林業作業の従事者として、チェーンソーや各種資格及び労働安全の対策等が必要です。

特に作業現場は携帯の電波や通行に不便な場所が多く事故が発生した場合に救急隊の到着にかなりの時間を要すると思われます。

このようなことから、「笠間消防署」の「応急手当と救命処置講習」を全職員が受講し「普通救急」資格を取得しました。事故のない安全な作業と労働環境づくりを実施してまいります。



講習会受講の様子



林業機械を利用した倒木処理訓練



支障木伐採後



支障木伐採前

「支障木及び危険木の伐採」について

自宅や施設周辺の危険木や支障木の伐採については、高所作業車や林業機械を利用しての作業が多くなります。

現場の状況や処理方法によつ

て、内容が変わりますので、事前に見積等をしてからの実施になります。なお、日程等の調整がありますので、早めに申込みください。

また、地目が山林で面積によって市や町への「伐採届」の提出が必要になります。

当組合が受託した業務については、事故や破損に対する法律上の賠償責任を負担する保険に加入しております。

支障木・危険木伐採の流れは次の通りです。

伐採届出を各市町へ提出

電話等での申し込み

現地調査と見積もり

日程の調整

伐採等の実施

請求…完了





笠間広域森林組合の区域は笠間市・桜川市・城里町(七会地区)となっております。組合に加入していれば造林補助金や各制度を利用した森林の経営や管理について専門的な助言や事業を優先的に導入することが出来ます。

現在約1500名の会員がおりますが、毎年、所有している森林の場所や内容がわからない方が多くなつてきております。組合の保有している資料を基に調査することも可能となりますので是非加入の促進をお願いいたします。会員の募集については随時行っております。加入の様式等については、ホームページでもご覧いただけます。

作業員を募集しています

組合の業務には、山の下刈りや施設の除草など多岐にわたる作業があります。

これらの作業ができる作業員を募集しておりますので、ぜひお問合せください。



下刈りの様子

組合員の状況

①組合員数

単位：人

資格区分	前期末	当期加入	当 期 脱 退					当期末
			任意脱退	資格喪失	死亡又は解散	除 名	合 計	
正組合員	1,479	8	1	0	0	0	1	1,486
准組合員	14	1	0	0	0	0	0	15
合 計	1,493	9	1	0	0	0	1	1,501

②出資口数

単位：口

資格区分	前期末	当期増加	当期減少	当期末
正組合員	24,524	937	395	25,066
准組合員	320	50	0	370
合 計	24,844	987	395	25,436

(令和5年3月31日)

組合員資格に係る届出のお知らせ 組合員の名義変更をお願いいたします

- 1、死亡による相続
- 2、譲渡
- 3、その他(住所変更等)

様式は組合ホームページからもダウンロードできます。

新規組合加入や各届出は、常時受け付けております。

アドレス▶ <http://k-forest.or.jp>

問合せ先

笠間広域森林組合

検索

電 話▶ 0296(72)2510

F A X▶ 0296(73)0212



新型コロナウイルス感染拡大による対策が第5類感染症に移行になりましたが、コロナウイルスが消えたわけではありませんので、常に感染対策は必要であると思います。

さて、昨年度は、職員の更衣室の増築と震災で被害を受けた壁やトイレ等の改修を実施することが出来ました。

現在の職員数は、当時から比較すると増加しておりますが、これからの経営を維持するためには、職員の育成や高性能林業機械の更新、「スマート林業」の導入など人材や労働力の確保と技術力の向上などが求められます。

特に保育関係の作業員が不足しておりますので、ぜひ一緒に働いてみたいと思う方がいれば、ご連絡をいただきたいと思います。

表紙の写真は、城里町七会地内の皆伐作業で県の「森林湖沼環境税」を活用した「トップランナー育成支援事業」の補助により、導入した高性能林業機械プロセッサによる造材作業の様子を掲載しました。